

開門連携特別企画展

清張の 原風景 遙かな記憶 — 下関編 —

松本清張は、明治42(1909)年に福岡県企救郡板橋村(現・北九州市小倉北区)に生まれ、幼少期を下関市・旧埴ノ浦や田中町で暮らしました。清張は「回想的自叙伝」(のち『半生の記』と改題)に「もし、少年に『未知への憧れ』があるとしたら、私のその思慕は三つぐらいのときに見た門司の夜景からはじまったのかもしれない」と書きました。関門海峡を挟んで門司の風景を眺めていた清張と家族は、やがて対岸へと移り住み、小倉で半生を過ごします。



このマークは、
2009年松本清張生誕100年を記念してつくられたものです。

平成22年

10月5日(火) ▶ 12月26日(日)

◎9:30~17:00(入館は16:30まで)月曜休館(祝日の場合は翌日休館)

田中絹代ぶんか館
(下関市立近代先人顕彰館)1階

下関市田中町5番7号 TEL.083-250-7666

主催:下関市・北九州市

《観覧無料》



○JR下関駅よりバスで7分、唐戸バス停下車、徒歩8分
○JR新下関駅よりバスで30分、西の橋バス停下車、徒歩2分

◎ごあんない

記念講演「下関での松本清張」

講師/下関市立中央図書館 館長 安富静夫

日時:11月13日(土)10:00~11:30 会場:田中絹代ぶんか館ミニホール



写真提供:文藝春秋